

災害伝承の取組事例 広島市立城山北中学校

概要

(1) 実施日 令和4年6月29日(水)

(2) 対象者 広島市立城山北中学校
(座学:2・3年生, 豪雨体験:全学年, 砂防堰堤見学:2年生)

(3) 内容

- ・土砂災害について講義
(平成26年8月豪雨で安佐南区八木が受けた被害について等)
- ・降雨体験機による豪雨体験
- ・砂防堰堤の見学

平成26年8月豪雨災害において土砂災害の被害を受けた安佐南区八木の城山北中学校生を対象に、国と連携して開催

豪雨体験



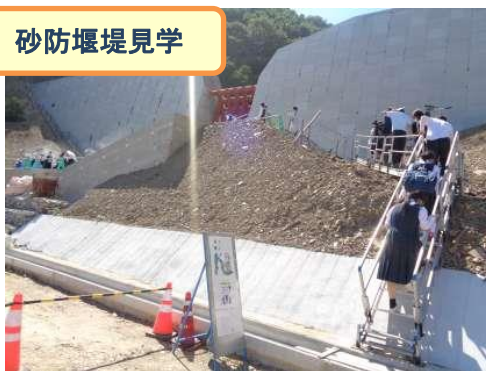
降雨体験機により豪雨
(時間雨量100mm等)を体験

講義の様子



土砂災害についての講義

砂防堰堤見学



安佐南区八木にある砂防堰堤を見学

生徒の感想

- ・この地区は、大きな被害を受けたことがあるので、今回の講義でより一層防災への意識が高まりました。とにかく「早めの避難」が大切だと思いました。
- ・講座を聞いて家で避難するときの道や避難場所を改めて話し合うことが出来た。
- ・災害時の行動や、多くの命を守るために自分ができることを考えるきっかけになった良い機会でした。たくさんの人に知ってほしい!!と思うことがたくさんありました。
- ・私はダムに守られて、安心な生活ができていたんだなと改めて大切さについて学びました。ダムだけでは守れない災害もあると思います。そういう時にすぐ避難できるようなルートを確認したり、非常用の食品など準備したいです。
- ・話を聞いて、家族で災害や避難のことを話しました。「近くの地域が逃げたら」と言って待つのではなく、自分自身考えて、行動したいなと思いました。
- ・他人事だと思わず、早めに避難することが、自分の命を守るために大切なことだとわかりました。